

CENTER INFORMATION

セクション 1

正課科目による 知識教育

学生の成長への動機づけを促すための機会を、正課科目を通じて学生に広く提供しています。具体的には、初年次必修のキャリア関連科目(主題A「人生とキャリア」)を通じて、学生は自らのキャリアについて考え、将来の夢や目標の実現に向かって自ら学び成長しようとする意欲や姿勢を育みます。



セクション 2

正課外講座による スキル教育

学生生活の中で感じている自分の能力向上の必要領域の学習機会を、正課外講座の「デキル大学生になろう!」を通じて学生に広く提供しています。「デキル大学生になろう!」では、学生のニーズやスキル習得状況に応じた多様な講座をカフェテリア方式で用意しています。



キャリア支援センター実施事業

鍛えあげ型人財育成プログラム



キャリア支援センターでは、鍛えあげ型人財育成プログラムを実施しています。このプログラムは、「正課科目による知識教育」「正課外講座によるスキル教育」「鍛えあげインターンシップ」という3つのセクションから構成されています。大学や学外のフィールド(地域や企業等)において、学生が「気づきを通じた成長」をはかることができよう学習経験の機会を提供することで、学生の知識・技能・態度を段階的に「鍛えあげ」とともに、教育全体の有機的連携をはかり、地域で輝く「人財」へと育てます。

セクション 3

鍛えあげ インターンシップ



「鍛えあげインターンシップ」の中心は、学生が職場に入り込んだ体験をし、社会のリアリティに触れ、これまでの自分から「一皮むける」機会を与えることです。そのため「鍛えあげインターンシップ」では、従来の職場の見学や体験に終始しがちなインターンシップ(体験型)から一歩踏み込み、受け入れ先の職場により関わりを持つことなど、職場に応じた特別プログラムを用意しています。また、インターンシップの実践だけではなく、周知会、事前講座、事後報告会なども実施し、総合的に学生の成長をサポートしています。

※香川大学キャリア支援センターではこれまで、「体験型インターンシップ」と「実践型インターンシップ」の2種類のインターンシップを実施してきました。「体験型インターンシップ」のカテゴリーの中に「鍛えあげインターンシップ」を新規設定し、より踏み込んだ就業体験ができる機会を設けました。

【鍛えあげインターンシップの流れ】

周知会／事前講座

周知会

参加学生と受入企業の顔合わせをおこない、インターンシップにむけた心構えや、働くことについて率直な意見交換をおこないます。

事前講座

職場で必要とされるスキルである自己理解、論理思考、リーダーシップ、フォローアップについて学びます。



鍛えあげインターンシップの実施

インターンシップは、毎年、受入れ企業ごとにその内容を決定し、夏季休業期間に実施します。



事後報告会

参加学生は自らのインターンシップの体験を発表します。発表後、質疑応答と担当教職員からの助言指導が行われます。

